

# IoT等を活用した産業保安スマート化の取組について（損害保険会社からの視点）

## 火災保険における火災・爆発事故原因の傾向

- 設備老朽化に伴う損傷、漏電
- 従業員の技術習得の未熟さ等から生じる操作ミス

## 工場火災保険におけるリスク評価

リスク評価は以下の観点で行い、保険料率を決定する。

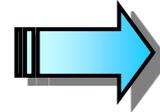
- ✓ ハード面だけでなく、ソフト面を加えた両面から
- ✓ 設備単体だけでなくサイト全体で

### 【評価項目例】

- ①ハード：建物構造、用途・工程、消防設備、類焼危険 等
- ②ソフト：防災管理状況、従業員教育 等



プラント（設備）にIoTを導入すること（ハード）に加えて、  
リスクマネジメントを高度化すること（ソフト）が望ましい。



## スーパー認定事業所制度の創設

### <認定要件（抜粋）>

- IoT・ビッグデータ等の新技術導入  
⇒ ビッグデータ収集、AI分析を通じて、異常・予兆の早期検知が可能となり、適時適切な部品交換等を行うことで、設備老朽化を回避
- リスクアセスメント実施、教育・訓練の高度な取組  
⇒ 保安に関し高度な人材を確保し、技術伝承を強化することで、保安力を強化



これらの要素を火災保険料に加味することで、  
制度普及（保安力強化、スマート化投資促進等）  
に貢献していく。

## プラントへのIoT導入促進で高まるサイバーリスク

- ✓ スーパー認定事業所制度導入で火災・爆発リスクが減少する一方で、サイバーリスクが高まる恐れ。
- ✓ サイバー攻撃により、工場操業停止に伴う利益損害や原因調査費用（フォレンジック費用）の発生。
- ✓ サイバーリスク保険では利益損害を担保可能だが、現状では普及していない。
- ✓ 慎重にリスク管理をしながら、利益補償付サイバーリスク保険の普及に取り組んでいく。